

公益社団法人日本顕微鏡学会主催
第36回顕微鏡サマースクール開催にあたって

2026年8月21日（金）から22日（土）の2日間にわたり、第36回顕微鏡サマースクールを開催いたします。

本年度は「電子顕微鏡技術一級技士と専門家に学ぶ ―継承と承継―」をテーマに掲げ、電子顕微鏡技術の習得に加え、組織の機能を深く理解し「組織を読む力」を養うこと、そして免疫学の基礎を学ぶことに重点を置いたプログラムを構成します。

生物系電子顕微鏡研究の最前線で活躍する電子顕微鏡技術一級技士の講師陣を中心に、その卓越した専門知識と技術を直接伝授いたします。電子顕微鏡に初めて触れる方はもちろん、さらなるスキルアップを目指す方、また生物系以外の分野から新たな視点を取り入れたいとお考えの皆様まで、幅広くご満足いただける内容を目指し、各講師が分かりやすい講義と実習を企画しております。

1日目は、細胞の微細構造の機能や免疫の基礎理論に加え、形態学者の講師陣による特別講演を行います。なお本講義につきましては、より多くの方に顕微鏡学の魅力に触れていただくため、無料でのWeb配信も実施します。

2日目は少人数グループ制の実技講習とし、「透過型電子顕微鏡(TEM)試料作製」、「走査型電子顕微鏡(SEM)試料作製」、「免疫電顕法」の各グループに分かれた終日の実習を開催いたします。現場で即戦力となる技術の習得を強力にサポートいたします。

本サマースクールが、次世代を担う若手技術者や研究者の皆様にとって、貴重な学びと成長の場となることを切に願っております。学生の皆様も参加しやすい環境を整えておりますので、多くの方々のお申し込みを心よりお待ちしております。

公益社団法人日本顕微鏡学会

第36回顕微鏡サマースクール実行委員会

実行委員長 高木 孝士（昭和医科大学）

副実行委員長 盛一 伸子（慶應義塾大学）

副実行委員長 牛島 夏未（北海道大学）